

ノーベル化学賞受賞 白川英樹博士が塾長となり、自然に学び、人間関係を育む
自然科学教室 第10回「科学の泉 - 子ども夢教室」
新潟県十日町市にて開催、全国の小中学生より参加者募集
募集期間:2014年3月3日(月)~4月19日(土) / 対象:小学5年生~中学2年生

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 中鉢良治)は、自然や科学に興味・関心を持つ小学校5年生から中学校2年生を対象に、第10回「科学の泉-子ども夢教室」(<http://www.sony-ef.or.jp/sef/spring/>)の参加者を、3月3日(月)から4月19日(土)までの間、全国より募集します。開催期間は、8月3日から8月8日までの5泊6日で、場所は「当間高原リゾートベルナティオ」(新潟県十日町市)を予定しています。

「科学の泉-子ども夢教室」は、ノーベル化学賞受賞者の白川英樹先生(筑波大学名誉教授)を塾長とし、夏休み期間中に行う自然科学教室です。全国から集まった約30名の子どもたちが異学年のグループを作り、自然豊かな環境の中で6日間、“自ら考え、行動する”探究活動を行います。また、白川先生が発見した導電性プラスチックの実験(写真=右=)にも取り組むなど、最先端技術も体感いただけます。



本プログラムは、自然や科学に対する興味や関心を深め、自然の不思議を追究する楽しさを味わうことに加え、ここで出会った仲間を通じてより良い人間関係の構築を目指すことを目的としています。

■ 子どもたちが自身が、自然の中から課題を見つけ、調べ、発表する6日間

昆虫や植物などが豊富に生息する自然を探索する中で、子ども自身が課題を探し、その探究方法を自ら考え実行していくのが「科学の泉」の特長です。“与えられた課題”ではなく、“自分たちが疑問に思った課題”への取り組みを通じて好奇心や創造性を育ててほしいという思いがあります。最終日には活動報告を行い、白川先生より一人一人に修了証書が手渡されます。



昨年は、カエルの種類や特徴、餌、好む環境などの生態調査や、蝶や蛾の鱗粉標本制作、森に生きる多彩なキノコの採取、イモリ飼育用ビオトープ作りなど、子どもたち自らが考えた研究テーマで、試行錯誤を重ねながら活動しました。

<第10回「科学の泉-子ども夢教室」応募概要>

- 募集期間: 2014年3月3日(月)~4月19日(土) 当日消印有効
- 開催期間/場所: 2014年8月3日(日)~8日(金)/新潟県十日町市珠川
- 応募条件: 小学校5年生以上中学校2年生まで(2014年8月時点) ※定員: 約30名
- 応募方法: 指定用紙(①申込書 ②推薦書 ③課題作文 ④自己紹介文)を財団ホームページよりダウンロードし、郵送でソニー教育財団まで送付
※ご注意: 応募用指定用書のダウンロードは3月3日(月)より可能
- 参加費用: 20,000円(交通費は各自負担)
- 問合せ先: TEL 03-3442-1005
- 応募書類送付先: 〒140-0001 東京都品川区北品川4-2-1 御殿山アネックス2号館
- URL: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/spring/>

第 10 回「科学の泉—子ども夢教室」

応募要項

【目的】

参加する子どもたちは、塾長 白川英樹先生や指導員、友だちと過ごす 6 日間の中で、好奇心や創造性を育んでほしい。また、観察や試行錯誤などを繰り返し、じっくり追究して疑問を解き明かす楽しさを味わうことで科学に対する考えを深めるきっかけにしてほしいと考えています。

【特長】

- ◎ 豊かな自然にじっくりと浸り、感性を磨いて、好奇心を育む
- ◎ 異学年グループによる構成での活動：グループメンバーが力を合わせることで、自立的生活の実践
- ◎ 自分たちで決めた探究課題を数日間にわたり追究する取り組み
- ◎ 白川先生と小・中学校教諭の指導員によるサポート
- ◎ 白川先生の研究“導電性プラスチック”の実験
- ◎ 修了後も、同年度・他年度の参加者との交流を持つことができる

【期間・開催地】

開催期間： 2014 年 8 月 3 日(日)～8 日(金)の 5 泊 6 日
開催地： 新潟県十日町市珠川
宿泊施設： 当間高原リゾートベルナティオ
活動場所： 宿泊施設周辺の森林、草原、沼地など

【指導者】

塾長： 白川英樹 筑波大学名誉教授、指導員：全国の小・中学校教諭

【募集】

募集期間： 2014 年 3 月 3 日(月)～4 月 19 日(土) ※当日消印有効
応募条件： 2014 年 8 月時点で、小学校 5 年生以上中学校 2 年生までの下記条件を満たす児童・生徒

- ✓ 本人が強く参加を希望し、保護者も本企画の趣旨に賛同している
- ✓ 自然の中での活動や科学に興味・関心がある
- ✓ 5 泊 6 日の異学年での集団生活をする自信がある

※ 過去に開催された「科学の泉」に参加された方は、応募できません。

募集人員： 約 30 名

応募方法： 下記 4 点の指定用紙をホームページよりダウンロードの上、必要事項を記入し、郵送にてソニー教育財団までお送りください。

(1)申込書 (2)推薦書 (3)課題作文(400 字以内) (4)自己紹介文

※詳しくは <http://www.sony-ef.or.jp/sef/spring/> をご覧ください

(応募用指定用紙のダウンロードは 3 月 3 日(月)より可能)

※推薦書の記入者は、校長・現担任・前の学年の担任など本人をよく知る先生のどなたかにお願いします。

参加費用： 一人 20,000 円(食費や教材費を一切含みますが、現地(当間高原リゾートベルナティオ) までの交通費は自己負担)

選考日程： 第一次選考(書類)は 5 月中旬結果発送。第二次選考(面接)は、東京(5 月 31 日(土)、6 月 1 日(日))を予定。6 月下旬結果発送。

◆ 応募についての問い合わせ、申込先：TEL 03-3442-1005/FAX 03-3442-1035
〒140-0001 東京都品川区北品川 4-2-1 御殿山アネックス 2 号館
公益財団法人 ソニー教育財団「科学の泉」担当 宛

【参考日程】 ※予定の日程は変更になる可能性があります。

- 1 日目： 開校式、白川先生による講話「自然に学ぶ」、散策
- 2 日目～5 日目： 自然探究活動、導電性プラスチック実験、夜空の観察など
- 6 日目： 活動報告会、閉校式、白川先生より修了証の授与

■ 修了後の仲間たちの交流

「科学の泉」では、活動修了後も、これまでの参加者が集い、毎年 3 月に交流会を行っています。ここでは、その年度に行われた「科学の泉」での探究活動、各自で行っている研究活動、興味を持って取り組んでいることなどを皆で共有し合い、将来の励みとします。

同年度に参加した塾生だけでなく、異なる年度に参加した塾生の話も聞くことができるため、交流の輪が年々広がっていきます。さらに、交流がより活発になるようにと卒業生が発案した交流誌「科学の森」は、今年も卒業生の手により編集され、第 5 号が発行されました。



～白川英樹博士より、未来を担う子どもたちへ～

——「他人のやらないことに挑戦し、深く考えることを」——



子どもたちには、自然に身をおいて、いろんなことを自ら見出していく経験をたくさんしてほしいと願っています。教科書や学校で学ぶことはほんの少しです。でも、自然には未知のことがまだまだたくさんあり、新たな発見に出会うことができる宝の山なのです。よく観察し、記録し、調べる、そしてよく考えることで、大自然の中で学ぶ楽しさと、自分自身がひとりで学ぶ楽しさを味わえることでしょう。

そして、理系は理系、文系は文系の勉強だけでは不十分です。理系であっても文学や芸術などいろんなことに触れてください。いろいろなことに好奇心をもち、知性を磨くことが大事なのです。偶然をきっかけにすばらしい発明や発見をする能力を「セレンディピティー」といいますが、ノーベル賞を受賞した導電性プラスチックについても、偶然に起きた実験の失敗から発見ができました。知性を磨かなければ、セレンディピティーのような間違いから何かを発見することはできません。そのためにも、学校の勉強だけでなく、自分自身で勉強してほしいのです。そして、他人のやらないことに挑戦し、深く考えることを覚えてもらいたいと思います。